

(一七四四〜一七八〇)

一六 (延享〜安永年間)十二月 老中松平武元より出石藩主仙石

政辰あて奉書〔A〕

〔貼紙〕  
「仙石越前守殿

松平右近将監」

御状令ニ披見ごじょうひけんせしめ候、

就げんかんのせつにつまニ嚴寒之節、

公方様くぼうさま

若君様」御機嫌

被これをあいうかがわれ相ま伺ます之ます候、

益ますます御安全御儀候間、

可あいだレ被こころやすかるべくニ心易したか候、

隨したが而塩しな

鮎あけ一桶、

進これをしんじようニ上あ之おの候、

各おの申談もうしだんじ、

遂ひらうをとげニ披露ひら候処、

一段之」仕合しあわせに

候、恐々謹言おそろしうまうきんげん

松平右近将監

十二月五日

武元(花押)

仙石越前守殿